

栄町ふれあいセンターだより

2005年
新春号

栄町ふれあいセンター市民協議会

栄町ふれあいセンター：東村山市栄町2-25-5

電話390-3283 Fax 390-3284

(休館日は、年末年始と月曜日です)

新春のごあいさつ

会長 柴田哲雄

新年明けましておめでとうございます。

当ふれあいセンターも三年が過ぎ、皆様に大変利用されるセンターとなりました。

毎月第一土曜日に催される「親子ふれあい教室」、囲碁・将



棋サークル、そして年四回発行する広報誌と、それぞれ役員の方々、会員の皆様方の自発的行動で運営されています。

去年は「災」の年となり、地震、台風、また年末にはスマトラ沖の地震・津波で十何万もの貴い命がうばわれました。今年は、ぜひとも皆様一人一人の力で明るい社会を作って行ければと思います。

皆様のご利用を職員共々お待ちしております。

第三回囲碁・将棋大会開かれる!!

栄町ふれあいセンター市民協議会主催の第三回囲碁・将棋大会が去る十二月五日、当センターで行なわれました。

囲碁・将棋愛好家が集まり、熱戦を繰りひろげ、左記の方々が優勝され、表彰状と賞品が贈呈されました。

囲碁 Aリーグ 逸見英一
Bリーグ 宿利一馬
Cリーグ 宮澤和人
Aリーグ 有江鋼太
Bリーグ 長谷川潤

(敬称略)

栄町ふれあいセンター
第三回囲碁将棋大会



左から優勝した宮澤、宿利、逸見、有江、長谷川の各氏

親子ふれあい教室

凧あげ大会

一月八日(土)、都立東村山中央公園にて凧あげ大会をしました。風が強く凧あげには絶好の日和でした。風が強いので外はさぞかし寒いだろうと思いましたが、日射しが柔らかく暖かでした。青空に凧がぐんぐん上がっている光景は、とても雄大でした。



新春書初め大会

来年も大勢の方々の参加をお待ちしております。



親子ふれあい教室のご案内

*親子のご参加は勿論のこと、お子さんお一人でも参加できますので、気楽にご参加下さい。

☆二月五日(土)午後一時よりカンフー体操に挑戦してみよう

中国武術協会の指導員により、柔軟体操とカンフー体操をします。

☆三月五日(土)午後一時よりみんなでゲームを楽しもう

大勢でできるゲームを中心に地域のおじさん、おばさんと交流しましょう。

第三回栄町ふれあいセンター

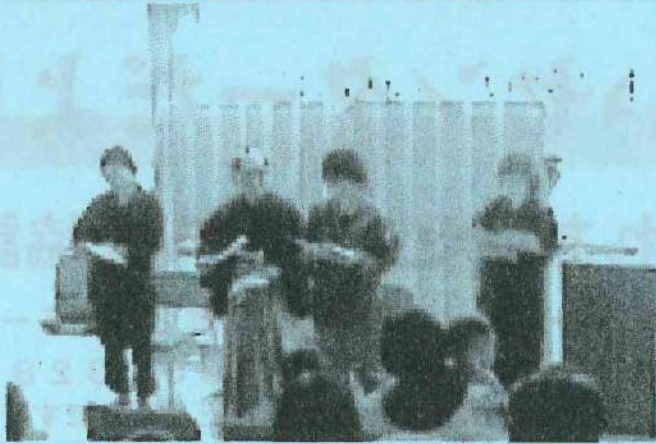
秋まつり盛況に終わる！！

秋まつりの当日は、快晴に恵まれ良いイベント日和になりました。

朝のテント作りから始まり、模擬店（焼きそば、綿あめ、フランクフルト、飲み物等）の準備も順調に進み、役員の方々の意気込みが充分に感じられました。消防車の展示は子供達に喜ばれ、センター内では、紙芝

居、フラダンス、フラメンコ等、盛りだくさんの催し物があり、日常ではなかなか見ることも出来ない楽しいものでした。たくさんの子供達が来て、ふれあいセンターが少しずつ地域の方々を知っていただき喜ばれていることを感じられる一日でした。これからも地域の方々と一緒に運営できたら幸いです。

実行委員長 藤崎太一



「演じてみよう会」の朗読劇

『第三回秋まつり』が、十一月二



「マハロ・フラ」のフラダンス

十一日、盛大に開催されました。今回は第三回目という事もあり地元の方々にも認知され



「彩の会」の日本舞踊

つ早い時間から大勢の来場を頂き協議会役員もうれしい悲鳴！恒例の模擬店では、焼きそば、綿あめ、飲み物、フランクフルト等が人気が高く大喜びの子供達。又、センター二階では、アトラクションとして、うば捨て山の朗読劇、紙芝居は子供達の人気者アンパンマンの登場となり会場は大声援、フラダンス、日本舞踊、和太鼓、フラメンコ等、飛び入りカラオケ大会は、感動と笑いで一杯のセンター内でした。

来場されたお客様は、延べ二百名を越える方々でした。今年も楽しいふれあいまつりを実施することができました。ご協力を頂きました市民劇団



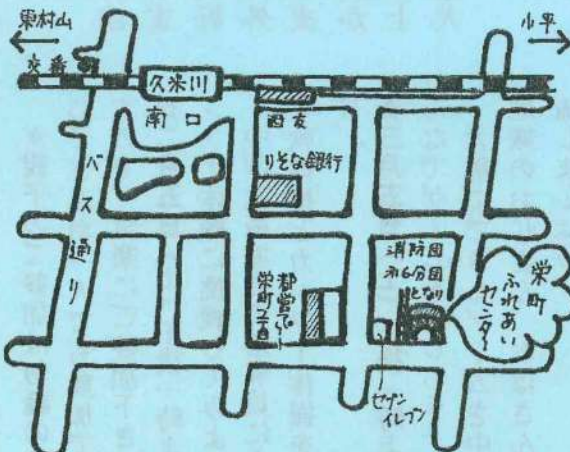
フラメンコ

演じてみよう会、マハロ・フラ、彩の会、子供まつりの皆様にも心より御礼を申し上げます。

栄町ふれあいセンターのご案内

東村山市栄町2-25-5
(第六消防団隣り)

電話 390-3283 Fax 390-3284



栄町ふれあいセンター運営協議会会員の募集

栄町ふれあいセンターは周辺自治会代表及び近隣地域に居住する市民の無償ボランティアによる市民協議会が管理運営に当たります。

趣味の同じ仲間や親子で遊べるイベントなどを企画します。趣旨をご理解ご協力頂ける方を会員として随時募集しています。お気軽にお申込み下さい。



栄町ふれあいセンターだより

2005年
夏号

栄町ふれあいセンター市民協議会

栄町ふれあいセンター：東村山市栄町2-25-5

電話390-3283 Fax390-3284

(休館日は、年末年始と月曜日です)

第四回定期総会開催される

先月、六月四日(土)十八時より平成十七年度栄町ふれあいセンター第四回定期総会が、出席及び委任状を合わせ六十九人の会員の出席をもって開催されました。冒頭に柴田会長より心強く愛情のある挨拶があり、つづいて議長の選出が行われ、平成十六年度事業報告、会計報告と監査報告があり質疑応答の後、拍手をもって承認されました。

域の皆様とさらに密着した栄町ふれあいセンターでありたいと意志統一がされ無事、総会が終了しました。

引き続き平成十七年度の活動方針、事業計画、予算案、会則の改正に入り、この中で運営方針と事業計画は前年と同様に地



栄町ふれあいセンター
第四回定期総会

協議会会則の改定

(委員会) 第八条の二

委員の任期は二年を一期とし、再任を妨げない。

(役員会) 第九条の二

役員の任期は、第八条第二項及び第三項と同様とする。

(部会) 第十一条の四

部長及び副部長の任期は、第八条第二項及び第三項と同様とする。

第四回囲碁将棋大会

日頃の練習の成果

第四回囲碁将棋大会が六月十九日(日)に栄町ふれあいセンターで開かれ、次の方が優勝しました。

囲碁の部

A リーグ 加藤 彰さん

B リーグ 大塚 充さん

C リーグ 宮澤 和人さん

将棋の部

A リーグ 有江 鋼太さん

B リーグ 山田 稔さん

栄町ふれあいセンターの囲碁将棋サークルは、毎週金曜日の午後と第一、第三日曜日の午後に当会場で開かれています。

半年間で会費が千円です。興味のある方は、ご遠慮なく参加してみして下さい。

初心者も強豪も入り混じって和気あいあいと腕を磨いています。

平成十七年度活動方針

会長 柴田哲雄

栄町ふれあいセンターも三年が過ぎました。平成十七年度より予算が変わり、委託料の他、利用料の収入、カラオケ等の使用料が有料となり、自由に使える予算が増えましたが、一方補助金は全額返金となり、今年度からは予算は付かなくなります。

残り一年の任期となりますが、新しい委員の方の入会を勧めて、新鮮な考えを取り入れ、地元根付いた皆様の利用しや

すいふれあいセンターとして運営が必要と思います。

総務部、広報部、コミュニティ部を中心にして各部の一層の充実を図っていききたいと思います。

また、これからは館内の施設の修理等も、増えると思われるので、積立金で修理にあて、気持ち良く使える施設を運営していきたいと思っています。

栄町ふれあいセンター
第四回囲碁将棋大会



左から加藤さん、大塚さん、宮澤さん、有江さん、山田さん

「親子ふれあい教室」

コミュニティ部 高橋啓子

四年目を迎え、「親子ふれあい教室」も、子供達の中に定着し、毎月の案内の原稿仕上げ、イラスト依頼・各小学校への配布、各運営委員の分担作業も軌道に乗り順調に進むようになりました。今年の目新しい企画「ビーズ・アクセサリー教室」も大成功で終了することができました。初めての指輪作りでしたが、子供達は器用にビーズを通して、みごとに完成させていました。続いて七月二日に「フラワー・アレンジメント教室」を開催。講師の先生

もびつくりされていました。個性豊かなアレンジで花屋さんの店頭にならんでいるような作品を作ることができました。



きつと家でも庭先や野原に咲いている草花を生けることが簡単に思えるようになったと思います。各中学校で行なわれている総合学習を栄町や萩山町の子供達は小学生の時代に体験していることに誇りを持って下さればと思っています。



八月の「夏休み工作教室は、シルバー人材センターに依頼して講師の方を派遣していた。だくことになっています。

なにを作るかはお楽しみというところですよ。

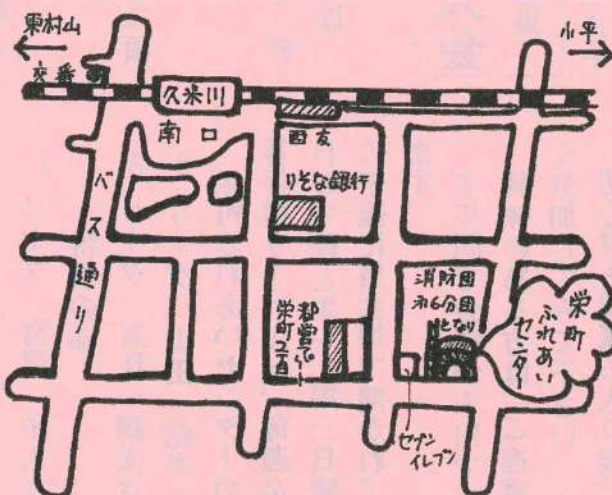
九月には、定例となつて「おしほな教室」です。今年の夏は作品に使う花や草を採集し、おしほなにする作業におわれそうです。

十月は、市民劇団「演じてみよう会」による朗読劇「泣いた赤鬼」、紙芝居「アンパンマン」が予定されています。今回は地域の歯医者さんによる「歯のはなし」を前半に入れていただくことになっています。帰りには、うれしいおみやげも用意されていると伺っています。お子さんと一緒に是非大人の方も参加されると良いお話がお聞きできると思います。今年も後半戦、暑い夏を乗り切つて実りの秋を迎えたいとスタッフ一同願っています。

栄町ふれあいセンターのご案内

東村山市栄町2-25-5
(第六消防団隣り)

電話390-3283 Fax390-3284



ちよつといい話

「親子ふれあい教室」のフラワー・アレンジメントが終つて帰りかけた時、自転車置き場に二人の小学生が帰る用意をしていました。よく見ると、今作つたばかりの花かごを自転車のかごに入れていきます。ところが、自転車のかが傾いているのでなかなかうまく入りませう。一方の花かごが斜めに入らなうさまでした。

広報委員

栄町ふれあいセンターだより

2005年
秋号

栄町ふれあいセンター市民協議会

栄町ふれあいセンター：東村山市栄町2-25-5

電話390-3283 Fax390-3284

(休館日は、年末年始と月曜日です)

第四回栄町ふれあいセンター

秋まつり

来る十一月六日(日)栄町ふれあいセンターに於いて、第四回ふれあいセンター秋まつりが開催されます。

当日はセンター前の広場では、協議会役員による模擬店、焼きそば、綿あめ、フランクフルト、飲み物等が出店されます。

又、センター内では、今回は

文化講演会を開催します。日本は今、少子化が進み人口に占める高齢者の割合は急激に増加、平成十二年には十七%を超え、平成二十二年には超高齢社会を迎えます。特別企画として、元カルティエ代表、菊川操子氏による「人生後半で高齢者と関わって」個人的な体験を通してというテーマで講演頂きます。

又、恒例の和太鼓、フラダンス、沖縄・三線、「バンド演奏と歌」がおこなわれます。今年も消防団第六分団のご協力をいただき、ポンプ車を展示し、日頃の消防の活動を見学頂けます。尚、豪華記念品の当たるお楽しみ抽選会を実施いたします。

秋晴れの中、午後のひとときを地域の方々と一緒に楽しみましょう。

多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

秋まつりイベントのご案内

平成17年11月6日(日)

午前11時～午後3時

雨天決行

アトラクション

<前庭>

☆消防団の消防車展示 11:00～
と自由撮影

☆和太鼓演奏 12:30～

<センター2階>

☆沖縄・三線演奏 13:00～

☆フラダンス

☆バンドと歌のミニコンサート

文化講演会

14:00～

「人生後半で高齢者と関わって」

元カルティエ代表 菊川操子氏

◎模擬店 11:00～

焼きそば、綿あめ、
フランクフルト
ビール、ジュース
など



文化講演会のご案内

今回は元カルティエ代表、菊川操子さんをお招きして、午後二時より「高齢者介護の現状」について講演をお願いいたします。「人は一人では生きられない。生きていて本当に良かったと思える一生を」をテーマに人生の後半から高齢者と関わってこれたご自身の体験を話していただきます。

まゆみ句会の秋季の句

萩の雨門に七五三はる恩師の宿
昌子

懸巢鳴きて夜来雨の上りけり
昌子

壇話の水を買いけり広島忌
雅子

浮き沈みしつ真深の踊り笠
雅子

野にあれば野のくれないの吾亦紅
翠

野にあれば野のくれないの吾亦紅
翠

屋は人夜は詩を恋ふ秋簾
葉

雁わたる天にひづみのなかりけり
葉

晩菊や指組めば指ほの暖し
佳子

船の灯の銀河の流れきし如く
佳子

露の葉に雨のにぎはひ新豆腐
諒子

箱が箱生むごとく積まれ秋暑し
諒子

風の盆八つ尾の猫にしたはるる
令子

胡弓ひく火種のような女のみ
令子

盛況だった親子ふれあい教室

押花教室

九月三日(土)

各自が用意したガラスびんに押花をアレンジしました。作り方は、びんに貼りたい押花を糊の代わりに用意した特殊なマニキュアをぬって貼りつけます。初めは、どんなアレンジをしようか迷っていたようですが、貼っていくうちに構想がふくらみ、どんどん作業が進んでいきました。ワンポイントのアレンジかな?と見ていてるうちに次々と押花を加えて、びん全体が華やかになりました。



子どもたちは、熱心に取りこんでいましたが、お母さん方も夢中になつていました。カメラマンとして見ていた私も、びんでも持つてくればよかったなという思いにかられました。出来上がった作品はどこに飾るのかな?飾り物としても素敵ですし、ペン立て、キャンディ入れなど実用品としても十分使えます。捨ててしまいたいような空きびんが押花をアレンジして大変身したのには驚きでした。

市民劇団「演じてみよう会」

朗読劇「泣いた赤鬼」など好評

「親子ふれあい教室」では、十月一日ふれあいセンターで、市民劇団「演じてみよう会」による朗読劇「泣いた赤鬼」、紙芝居「アンパンマン」などを演じ、親子二十名が参加しました。参加者のひとり八坂小3年生の吉野さんは「村人と仲良く暮らしたいと願っている赤鬼を陰で応援している青鬼の友

情に感動しました。」と語っていました。

出演者は、ボイストレーニングなどの発声練習やせりふと合わせ身ぶりや手ぶりの練習も積み重ね、観ている人に好評でした。



「親子ふれあい教室」

これからの予定

十二月の親子ふれあい教室は「絵手紙教室」、一月は「書初め教室」を予定しています。「地域で子供達とふれあおう!」を合言葉に、毎月楽しい催しが行なわれています。

今後子供達だけでなく、どなたでも参加出来る内容を企画しますので多くの皆様の参加を

お待ちしております。

ちよつといい話

「ボランテアの醍醐味」

市民劇団「演じてみよう会」代表、佐藤光男さん(七三歳)

私は、東映で足かけ四十年間映画の編集に携わってきました。

現在、市民劇団を結成し、市内の各小学校や高齢者施設で演じたとき、映画と違い直接感動が伝わってきます。

在職中に身につけた衣装、小道具、照明、音響などを生かしながら、参加者が喜んでくれるのを見ると、こちらが感動します。ボランテアの醍醐味ですね。

まゆみ句会の秋季の句

刈り伏せの陸稲に山日移りけり 昌子

露の世の高階に振るフルコース 雅子

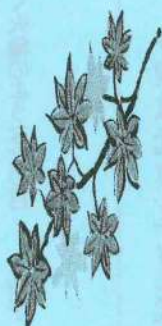
約束の潰えふうせんかづらかな 翠

十六夜や寝かすといふも琴のこと 葉

原爆忌カンナ無風の朱をこぼす 佳子

だしぬけに街灯ともる秋の暮 諒子

業平の塚へ五六歩草の花 令子



募集します!

来年発刊の新春号に冬・お正月・新春等の俳句・川柳等を募集します。発表作品でも可。ふれあいセンターで活動されているグループの紹介やサークルへの入会者の募集をご希望の方は、当事務所へお申し込み下さい。

抽選引換券
秋まつり実行委員会
当日限り有効
祭